

平成 26 年 5 月 15 日

各 位

株式会社バルクホールディングス  
代表取締役社長 大竹 雅治  
(コード番号:2467 名証セントレックス)  
問合せ先:取締役管理本部長 五十嵐 雅人  
電話番号:03-5649-2500 (代表)

## 平成 26 年 3 月期通期連結業績予想と実績値との差異 及び貸倒引当金の戻入益等の計上 (個別) に関するお知らせ

平成 25 年 5 月 17 日に公表いたしました平成 26 年 3 月期通期連結業績予想と本日公表の実績値との差異及び貸倒引当金の戻入益等の計上につきまして、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の差異について

- (1) 平成 26 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値の差異  
(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,431	百万円 20	百万円 25	百万円 22	円 銭 3.49
当期実績 (B)	1,693	28	24	15	2.41
増減額 (B - A)	261	7	△0	△6	—
増減率 (%)	18.2	37.9	△3.8	△28.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	1,046	15	19	37	7.88

(注) 当社は、平成 25 年 10 月 1 日を効力発生日として、普通株式 1 株を 100 株に分割し、1 単元の株式の数を 100 株とする単元株制度を採用しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり四半期純利益を算定しています。

#### (2) 差異発生の理由

平成 26 年 3 月期におきまして、当社グループは、前期に引き続き、継続的な利益の確保、事業拡大と企業価値最大化を目指し、既存顧客の囲い込み及び新規顧客の掘り起こし、ウェブ戦略の継続的な実施、予算進捗管理の徹底及び経費効率の改善等に取り組んでまいりました。また、持続的な事業拡大及び利益成長のために、事業の多角化と新たな収益機会の獲得を目指し、新規事業分野への進出として、平成 26 年 1 月 31 日に株式交換により、戸建住宅の建築請負工事及びリフォーム工事全般を事業とする株式会社ハウスバンクインターナショナルを完全子会社化いたしました。

これらの結果、売上高及び営業利益におきましては、完全子会社化した株式会社ハウスバンクインターナショナルの業績を平成 26 年 2 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの 2 ヶ月間を取り込んだこともあり、売上高は、計画を 261 百万円上回る 1,693 百万円となり、営業利益は、計画を 7 百万円上回る 28 百万円となりました。

経常利益につきましては、営業利益が増加したものの、持分法適用関連会社に対する貸倒引当金繰入額 4 百万円を計上したことなどにより、概ね予想通りの結果となりました。

当期純利益につきましては、子会社株式売却益 7 百万円を特別利益に計上したものの、厚生年金基金解散損失引当金繰入額 2 百万円を特別損失に計上したことなどにより、計画を 6 百万円下回る 15 百万円となりました。

#### 2. 貸倒引当金の戻入益等の計上 (個別) について

平成 26 年 3 月期の個別決算において、営業外収益として、連結子会社に対する貸倒引当金の戻入益 34 百万円の計上及び繰延税金資産の取り崩し 14 百万円を法人税等調整額に計上いたしました。なお、これらは個別決算固有の処理であり、連結業績に与える影響はありません。

以 上